

＼全国の先生にお伺いしました／

ICT（タブレット）と手帳 活用事例集

目次

- p1 大阪薫英女学院中学校・高等学校 新井誠 先生
－ 自分の手で書いてきた手帳は何よりも宝物になる －
- P2 札幌日本大学中学校・高等学校 中村雄一郎 先生
－ ICTと手帳、それぞれの特長・強みを活かして使い分ける －
- P3 山脇学園中学校・高等学校 田代彩 先生
－ 紙に書くことで見えることがある －
- P4 姫路女学院中学校・高等学校 石本昌嗣 先生
－ 手帳のメリットはすぐに開ける・書ける・見れること －

大阪薫英女学院中学校・高等学校（大阪府） 新井 誠 先生

▼ICT（タブレット）の使用目的とその用途

生徒はタブレットに組み込んだ複数のアプリを授業だけでなく、休み時間や放課後に自分のペースで学習しています。

例えば英語のリスニング学習をしたり、次回の模試で出題範囲に同期した学習教材を学んだり、各自が手元で視聴覚資料を見て学習に活かしたりしています。

英語の授業における使用例では、画面上にその日の学習テーマとコンテンツを明示し、単語を画面上にフラッシュカードのようにテンポよく表示させながら発音をさせたり、英語によるプレゼンテーションを生徒どうしで互いにタブレットで簡単に録画し、それをもとに自分自身の振り返りをしてから、より良いプレゼンができるよう繰り返させる、といったように、ICTならではの切り口で授業が展開され、興味を持たせる学習方法を実践して生徒に学習を「好き」になってもらう工夫をしています。

▼フォーサイト手帳の使用目的とその用途

学習計画立案とそのチェック、日々の学習や学校生活での相談などの記入を生徒にさせています。複数の教師でそれをチェックしてさまざまなアドバイスを書いて返したり、学習や学校生活の悩みに寄り添ったコメントを伝えたりしています。

画面の文字よりも自由に、気楽に書き込めるので、自分が書いた文字や色からその時の自分の気持ちや意識を読み返した時に思い起こさせるので、より鮮明に目標達成への意欲が湧いてくると考えています。

自分で立てた目標を自らの字で書きつけ、それに対して日々の積み上げていく行動を書き加える。

この工程を重ねて作り上げた手帳は、受験を控えた生徒にとっては何にも代えがたい貴重な財産であり、自信につながります。受験前はもちろんのこと、将来においてもこの手帳は自分の軌跡になり宝物になります。これが、今の時代でも紙の手帳を使用するメリットだと思います。

札幌日本大学中学校・高等学校（北海道） 中村 雄一郎 先生

▼ ICT（タブレット）の目的

HPで紹介している通り、ICTは進んでいる方かもしれない。教科書、ノート、プレゼンテーション、授業もICTを活用した方がスムーズ。クラッシーで学習時間を入力し、様々なことを見える化出来るという利便性もICTの方が優れている。

▼ フォーサイト手帳の目的

以前別の手帳を使っており、ICT稼働の為にストップしたが、昨年やはり手帳だということに。フォーサイトを知り活用することになった。目的（テーマ）は、生徒のPDCAサイクルを回すこと

▼ ICTとフォーサイト手帳の使い分け

手帳が優れているところは「計画を立てる」「先々の見通しを考える、」この力は手帳の方が優れている。利便性も手帳の方が上。パラパラと簡単に見ることが出来る、手軽さ、使い勝手、先生とコミュニケーションをとるのも手帳の方が便利。

ICTはカーナビを使って目的地に行くイメージ
手帳は目的地まで自分で調べて自分で計画を立てて進むイメージ

どちらが道をしっかり覚えるか？（実力が付くか？）
間違いなく手帳の方だと自分は思う。

中学生はICTも手帳もどちらも活用する上で大変さはかわらないが、
中1、中2は手帳の方が優れている。

手帳は高校生の方が重宝すると感じる。特に目的（進学・勉強等）を持った生徒にとっては手帳の方がいいと思う。

山脇学園中学校・高等学校（東京都） 田代 彩 先生

▼ ICT（タブレット）の目的

ICT教育に力をいれていくことは、文科省からも推進されていますし、社会にでてからも必要な力を培えることです。

そのため、学校としても総力をあげて取り組んでいます。

昨年度から教員にiPadが支給され、今年度から生徒にもiPadが支給されました。授業内でもロイロノートやGoogleClassroomなどを中心に活用しています。

▼ ICT（タブレット）の用途

生徒の活用状況

iPad：はじめに使用上の注意事項やルールを伝え、使い方を説明して使用しています。

デジタル教科書やデジタル問題集を利用している教科もありますし、必要なものの写真をとって持ち運びしているので便利なようです。

▼フォーサイト手帳の目的

一方で、紙ベースでの取り組みもなくすることはできないことであり、すぐに見ることが出来る、自分の手で書くことで見えてくることがあるなどのメリットもあります。そのため、スケジュール管理については手帳を活用させています。時折回収したり、クラスによっては手帳をiPadで写真にとってデータを転送させたりし、担任が確認をしています。

▼フォーサイト手帳の用途

生徒の活用状況

手帳：今まで通り活用しています。授業中のノートをとることや手帳でスケジュール管理を行うことを通じて、今後も手を動かして書き込むことも大切にしていきたいと考えています。

姫路女学院中学校・高等学校（兵庫県） 石本 昌嗣 先生

▼ タブレットの目的

タブレットは学習教材として活用することに限定、手帳は連絡事項の記入など主に自己管理に使用しています。タブレットと手帳はほぼ完全に分けています。学習教材はタブレット（iPad）に入れているClassiを使用することになっています。Classiについては目的に応じて制限を加えたり解除したりしながら、生徒に活用させています。

▼ タブレットの用途

- ・校内グループを使っての連絡事項等配信
- ・学習等取り組みを記録するポートフォリオ
- ・学習動画を使っての自学自習
- ・調べ学習に使用（インターネットの活用）
- ・リベラルアーツの授業での活用（タブレットに問題、感想などのシートが届く。）

デメリットは

- ・バッテリー：充電が切れると何もできなくなる。
- ・立ち上げ、使用までに多少時間がかかるため、その間に大切なことが終わってしまう。
- ・入力に時間がかかるため、すべての事項を記録できない。

▼ フォーサイト手帳の目的

手帳は毎日の連絡事項や予定の書き込みに使用しています。タブレットとは違い、1週間をまとめて見ることができます。これは予定を新たに組むときに一目で状況が分かるので便利です。

▼ フォーサイト手帳の用途

- ・日々の連絡事項の記録
- ・予定の書き込み

手帳のメリットは

- ・すぐに開いてメモができる まとめる→書くという作業が早くできる
- ・1週間がまとめてあるので前後の内容を確認しやすい